

祝!

# GLIM SPANKY × ONE PIECE FILM GOLD



「ONE PIECE FILM GOLD」のポスターとともに(撮影:澤野やすとし)



飯田市座光寺出身の亀本寛貴さん(25歳、ギター)と豊丘村神稲出身の松尾レミさん(24歳、ボーカル、ギター)による音楽ユニット「グリムスパンキー」がメジャーデビューして2年。次々と

CDを発売し、全国ライブツアーのほか映画、テレビなどでも大活躍中ですが、今夏はアニメ映画の超大作「ワンピース フィルム ゴールド」(市内の映画館でも公開中)の主題歌を担当。まさに飛ぶ鳥を落とす勢いの二人を取材しました。

## 「ワンピース」と一緒に僕らは成長してきた

——主題歌を担当してほしいという依頼が来た時、どう感じましたか。

**松尾** 原作者の尾田栄一郎先生が私たちの音楽を聞いてくれていると知って、信じられなかったですね。すごい作品を描いている先生なので。

**亀本** 本当にそう。えっ? ワンピースの主題歌? : : みたいな驚きがありました。

※ワンピースは「最も多く発行された単一作家によるコミックシリーズ」としてギネス世界記録に認定されている(2014年末時点での世界累計発行部数は3億2千万部以上)

——曲が完成した時の気分は。

**松尾** 尾田先生とはメールで何度もやり取りをしたのですが、出来上がった新曲「怒

**亀本** 作り終わった後に単行本を82巻まで全巻、読み直したんですが、こんなすごい作品の主題歌を自分がやってるのか、という重みを改めて実感しました。

——原作の雑誌連載開始は1997年、最初の映画化は2000年。二人ともワンピース世代ですね。

**松尾** まさにそうです。小学校時代に男子が学校の習字の授業で、将来の夢は海賊王とか書いていたんですよ。そんな懐かしい思い出がよみがえりました。

※「ワンピース」には、海賊王に俺はなるという主人公ルフィの有名なセリフが登場する

**亀本** もともと僕は「ワンピース」の大ファンなんです。テレビアニメもずっと見てまし

りをくれよ」を聞いてグリムスパンキーに頼んで本当に良かったと、熱い感想をいただきました。映画の製作チームからも「映画を意識せず、自分たちが純粹にかっこいいと思う音楽を作してほしい」とだけ言われていました。尾田先生とも製作チームとも心が通い合った作品が出来たと思っています。

たし、映画版もねじまき島の冒険などを見てきました。小学校から中、高、大 : : と、僕らの成長のそばに「ワンピース」はいつもあって、どんな世界的な、ビッグな作品になっていった。勝手な解釈ですが、僕らと一緒に成長してきた世界的な作品の主題歌を担当させてもらったんだな、と感じています。

主題歌「怒りをくれよ」は「ぐちゃいと感じた時は反骨心(=怒り)をあらわにして成長していこう」という思いを込めて松尾さんが作詞作曲。映画の内容ともぴたりと一致した同曲は、飯田市ほか全国の「ワンピース」上映映画館において、映画のフィナーレの場面で高らかに流れます。

(取材:文/仲井勇司)

# グリムスパンキー

映画「ワンピース フィルム ゴールド」の主題歌担当で大きな話題に

飯田下伊那出身  
男女2人組  
音楽ユニット

初回限定盤にライブDVDが付く最新アルバム「Next One」(発売中)



サポートメンバーを従えて行う迫力のライブ(2016年4月=東京)

※飯田市ウェブサイトでは、さらに詳しい取材記事を公開しています。パソコン、スマートフォンなどからご覧ください。



映画の原作は「週刊少年ジャンプ」連載の「ワンピース」。単行本が82巻まで刊行中